

|           |   |          |  |  |
|-----------|---|----------|--|--|
| スポーツの科学 A |   | 講義       | 講師 菅谷 美沙都<br>教授 谷口 英規<br>非常勤講師 小野 壮二郎                                |  |
| 科目カテゴリー   | スポーツマネジメントコースの教養<br>選択科目, スポーツトレーナーコー<br>スの教養選択科目<br>教職科目<br>柔道整復師コースの教養選択科目<br>救急救命士コースの教養選択科目<br>教職科目 | 科目ナンバリング | 11220132<br>11510104<br>12220148<br>12510104<br>13220129<br>13510104 |  |

### 1. 授業のねらい・概要

スポーツとは「日常からの解放」という原義を包含しつつ、現代においては「職業」、「学生の課外活動」、「趣味」、「健康維持」など様々なスポーツの在り方が存在し、人々の日常生活や社会生活に広く取り入れられている。スポーツの社会的な価値が認められつつある一方で、近年はスポーツという文化が内包する負の側面（暴力の許容等）についても露呈されており、我々はこうした問題を看過することはできない。本講義では、スポーツをあらゆる側面から多面的に捉え、現代社会におけるスポーツの価値を学ぶとともに、スポーツ実践者としてスポーツとどのように向き合うべきか、理論と実技を通じて一人一人が深く再考する講義としたい。

### 2. 授業の進め方

本講義は、理論と実技の混合型講義である。講義においては、スポーツの起源やスポーツ特有のゲーム性、スポーツを行なう上でのスポーツマンシップの姿勢やフェア志向の考え方を概観する。実技においては、バスケットボールやソフトボールといったチームスポーツを体験する。

### 3. 授業計画

|                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. ガイダンス (菅谷)                | 9. 基本的なシュート (小野)          |
| 2. スポーツの起源と歴史 (菅谷)           | 10. 戦術や連携プレー (小野)         |
| 3. スポーツにおける「ゲーム」と「試合」(菅谷)    | 11. 投球基礎【キャッチボール】(谷口)     |
| 4. 現代スポーツの諸問題 (菅谷)           | 12. 守備基礎【ゴロ捕球・フライ捕球】(谷口)  |
| 5. スポーツマンシップとフェア志向 (菅谷)      | 13. 打撃基礎【トスバッティング】(谷口)    |
| 6. バスケットボールの特性と基本動作 (小野)     | 14. ゲーム①【ケースを設定】(谷口)      |
| 7. ボールコントロールの指導①ドリブル (小野)    | 15. ゲーム②【チーム毎に戦術を立てる】(谷口) |
| 8. ボールコントロールの指導②パスとキャッチ (小野) |                           |

### 4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義はシラバスに則って進行するため、各テーマについて予め疑問に思うこと、知りたいことを考察しておくこと。また、レジュメを振り返りながら講義内容に関して理解しているかを確認し、疑問に思ったこと等を次回の講義で質問できるようにまとめておくこと。これらの準備学修には2時間程度が必要である。実技に関しては、可能な範囲で繰り返し練習すること。

### 5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

レポート提出後、解答、要点等を解説し、フィードバックする。

### 6. 授業における学修の到達目標

スポーツをあらゆる側面から多面的に捉える能力を身につけることを目標とする。

### 7. 成績評価の方法・基準

菅谷担当分は課題レポート (40%) として実施し、小野担当分 (30%)、谷口担当分 (30%) の実技評価と合わせて評価する。

## **8. テキスト・参考文献**

テキストは基本的には使用しない。講義レジュメを適宜配布する。

## **9. 受講上の留意事項**

実技の際、服装はスポーツに適したものを着用し、その他、各担当の先生の指示に従うこと。また、爪は短く切り、ネックレス、ピアス等は、危険なので外すこと。

## **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当しない。

## **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。